

公益社団法人日本青年会議所 2026 年度 基本方針

大阪ブロック協議会 会長 山田 満美子

<p>ブロック協議会の 幸せな社会</p>	<p>使命を心に つながりを信じて進む 希望あふれる未来都市大阪へ</p> <p>大阪は、多様な人財と活気にあふれるまちです。大阪ブロック協議会は仲間とのつながりを大切にし、28LOM のメンバーが未来を信じて挑戦できる環境を育みます。挑戦を恐れず、つながりを重んじる人財を数多く創出することで、地域課題の解決や社会開発を力強く推進します。さらに、日本青年会議所や近畿地区協議会と緊密に連携し、課題解決の知見や支援を共有することで、各 LOM の運動効果を最大化します。その基盤には、人々が日常のなかで幸せを感じられる社会の創造があります。防災や安全保障への備え、多様性の尊重、国際協力を重んじることで、地域から全国、そして世界へと希望を広げていきます。大阪ブロック協議会は、多様性を力に変え、地域資源を発掘し、国際的な視野を備えた人財を育てながら、大阪から新しい可能性を切り拓きます。私たちは、大阪から近畿、そして日本全体を牽引し、誰もが笑顔で暮らせる幸せな社会を創造します。</p>
<p>ブロック協議会の 役割</p>	<p>大阪ブロック協議会は、大阪府下 28LOM の運動効果を最大化するため、日本青年会議所、近畿地区協議会と LOM を結ぶ総合連絡調整機関です。各 LOM の課題を共有し、日本青年会議所や近畿地区協議会と連携して解決策を届け、組織の発展と運動力の向上を図るものです。併せて、地域資源を共有、国際意識の醸成、リーダー育成を通じて、府民の共感を得る魅力ある運動を生み出し、持続可能な地域社会の構築と大阪の発展に寄与します。</p>
<p>ブロック連携事業 (政策手法)</p>	<p>1.FCP(Family Continuity Plan:家族継続計画)の導入に向けた運動の推進</p> <p>大阪ブロック協議会は、大阪府下における家庭の防災意識や備えの現状を調査し、課題を明らかにすることを推進します。その調査結果をもとに、大阪独自の FCP 推進に必要な方向性を導き出し、府民への普及と実践につなげることを図ります。</p> <p>2.日常から始めるカーボンニュートラル推進事業の企画・実施</p> <p>日本青年会議所によるゼロカーボンシティ実現に向けた計画を基盤とし、大阪府下 28LOM メンバー向けにカーボンニュートラルに関する意識調査を実施し、現状の課題や理解度を把握します。その結果をもとに、再生可能エネルギーの導入や省エネ型インフラ整備といった具体的施策とあわせて、誰もが自分ごととして捉えられる推進活動を展開します。加えて学びや啓発活動を通じて、メンバー一人ひとりが日常生活の中で実践できるよう促し、組織全体での意識向上と定着を図ります。</p> <p>3.ブロックアカデミーにおける JAYCEE 育成カリキュラムの運用</p> <p>大阪ブロック協議会が総合連絡調整機関として、各 LOM と連携しながらアカデミーメンバーの育成を支援します。具体的には、JC プログラムを基盤にした統一カリキュラムを運用し、理念教育に加え、課題解決型の研修や地域資源の発掘を通じた実践的学びを提供します。併せて、大阪ブロック大会など地域を巻き込む機会を活用し、行政・企業・学生との協働を通じて地域愛を育むとともに、多様性を尊重した共存の環境づくりを推進します。これにより、28LOM のメンバーが未来を切り拓くリーダーとして成長できる土壌を構築します。</p>
<p>ブロック協議会 独自の事業</p>	<p>1.持続可能な組織を構築する大阪連絡調整会議の開催</p> <p>【背景】</p> <p>大阪府下 28LOM は会員拡大に一定の成果を収めているものの、組織理念に共感する人財が減少し、各 LOM が持つ運動の力が十分に発揮できていない現状があります。さらに、各 LOM が抱える課題は多様であるにもかかわらず、日本青年会議所や近畿地区協議会との情報連携が不十分で、必要な支援が行き届いていません。このままでは地域にインパクトを与える運動が停滞する危険性があり、LOM 間及び近畿地区協議会との緊密な連携強化が必要です。</p> <p>【目的】</p>

大阪連絡調整会議を通じて、大阪府下 28LOM が抱える地域独自の課題を正確に把握し、解決へ導くことで、LOM が自らの運動を最大化し、地域にインパクトを与える運動を起こせる環境を整えます。さらに、次代を担うリーダーを輩出し、市民を巻き込んだ共感ある運動を広げることで、大阪全体を未来へ導く力強い組織を築くことを目的とします。

【手法】

大阪連絡調整会議を定期的かつ計画的に開催し、各 LOM の課題や取り組みを把握します。共通課題については横断的に協議し、全体で解決策を共有することで運動の質を高めます。個別課題については日本青年会議所や近畿地区協議会と連携した最適な支援策を提示し、LOM が主体的に運動を起こせる体制を整えます。さらに、会議で得られた知見や成果を蓄積し、情報共有ツールや事例集を通じて LOM 間で学び合う仕組みを構築します。これらを通じて、各 LOM が地域特性を活かした運動を最大化し、市民の心を動かすインパクトある運動を起こせる様導きます。

2. 運動の力を最大化するための重点連携 LOM アクション

【背景】

大阪府下 28LOM では、会員拡大に一定の成果が見られる一方で、退会者数の増加や例会出席率の低下といった課題を抱えています。理念に共感する人財の減少は運動効果の低下につながり、地域課題の解決に挑む人財の輩出も減少し、持続可能な組織運営が困難となる恐れがあります。そのため、各 LOM に対する確かつ機能的な支援体制の構築が必要です。

【目的】

大阪府下 28LOM 全体の運動力を底上げし、メンバーの定着と成長を通じて地域課題解決力を高めます。そして、各 LOM が地域で確かな存在感を発揮し、市民とともに歩む持続可能な組織を築くことを目指します。

各 LOM の課題や支援ニーズを丁寧に調査し、大阪ブロック協議会が最適な支援方法を選定します。組織運営と例会事業の両面から支援体制を構築し、大阪府下 4 地域から支援対象 LOM を選定して、相互理解のもとで効果的な支援を実施します。さらに、日本青年会議所や近畿地区協議会と連携し、迅速に情報を共有・活用することで、各 LOM の課題解決を加速させ、運動成果の最大化を図ります。

3. 和の心を育み、挑戦心あふれる未来へとつながるわんぱく相撲大会の開催

【背景】

情報化の進展により子どもの生活環境は大きく変化し、直接体験や対面交流の機会が減少しています。その結果、他者への関心や、目を見てあいさつや感謝を伝えるといった基本的なコミュニケーション力が低下しています。子どもが人とのつながりの大切さを理解し、新しいことへ挑戦し一歩踏み出す勇気を持つ機会の創出が必要です。

【目的】

礼節、敬愛、思いやりの大切さを再確認し、青少年の健全育成を図ります。勝ち負けに関わらず目の前の相手に挑戦する意義を感じ、礼儀礼節や感謝の気持ち、相手を思いやる心、そして最後まで諦めない精神を養うことを目的とします。

【手法】

相撲を通じて礼儀礼節と感謝の気持ち、相手を思いやる心、最後まで諦めない精神を養い、挑戦心が生み出すエネルギーの可能性を高め、大阪の希望に満ちた未来へとつながる「わんぱく相撲大阪府決勝大会」を実施します。

4. 挑戦心を養う JC カップ U-11 少年少女サッカー大阪予選大会の開催

【背景】

大阪ブロック協議会が主催する JC カップ U-11 少年少女サッカー大阪予選大会は、青少年の健全な成長を促す事業として毎年多くの参加者を集め、約 800 名規模の動員実績があります。日本青年会議所や

	<p>近畿地区協議会とも連携できる規模と魅力を備えており、スポーツを通じて大阪府下の子どもたちが勝敗の結果にとらわれず、お互いを尊重できる心を育む場となっています。この大会は全国への挑戦の扉を開く機会でもあり、子どもたちに新たな好奇心を芽生えさせる場として重要です。</p> <p>【目的】 無限の可能性と好奇心を秘めた子どもたちが、仲間と目標を共有しながら協力し合い、強い絆を築けるようにします。試合が終われば勝った負けた関係なく、お互いを称え合い新たな仲間づくりを行える豊かな人間性を備えた人財育成を目的とします。</p> <p>【手法】 近畿地区協議会と連携し、子どもたちが挑戦する心を養える環境を整えます。サッカー大会を通じて、勝ち負けを超えてすべての経験が成長につながることを実感できるようにし、グッドルーザーの精神を身に付ける契機となる JC カップ U-11 少年少女サッカー大阪予選大会を実施します。</p>
	<p>5.大阪ブロック大会河内長野大会の実施</p>
	<p>【背景】 大阪ブロック大会は、大阪ブロック協議会における最大規模の運動発信の場であり、大阪府下 28LOM が一堂に会し、地域の魅力発信や交流を通じてメンバーの成長を促す貴重な機会です。しかし、その価値をさらに高めるためには、市民を十分に巻き込めておらず、地域全体での認知度もまだ十分とはいえません。より多くのメンバーの積極的な参加とあわせて、市民を巻き込んだ大会運営を実現することが課題です。</p> <p>【目的】 大阪ブロック大会を通じて地域に新たなつながりと学びの場を生み出し、メンバーの成長や地域活性化を促し、その成果を社会開発へと結び付けることが必要です。主管 LOM と大阪ブロック協議会が協働し、府下全域へ運動を広く発信することで、市民の共感を得ながら持続可能な地域社会の実現を目的とします。</p> <p>【手法】 大阪ブロック協議会の主要事業であるブロック大会を河内長野にて開催し、河内長野の魅力を含めた府下各地の地域資源を広く発信します。主管、副主管 LOM が連携し、行政、企業、学生など地域社会を巻き込みながら運営を進め、参加者、主管 LOM、主催者それぞれにとって有益となる大会を構築します。大会を通じて地域間やメンバー間の交流による好循環を生み出し、未来を切り拓く契機を創出します。</p>
<p>ブロックによる LOM 支援の実施内容</p>	<p>1.大阪連絡調整会議を継続しながら、各 LOM の課題を把握し、会員拡大の進み具合を確認するとともに、重要連携 LOM の状況を共有する。</p> <p>2.地域の実情に沿い、組織の未来を担う人財を対象としたブロックアカデミーを開催する。</p> <p>3.各 LOM の運動力が進化し、さらなる成果を生み出せるよう、必要に応じて分野別の支援を実施する。</p>
<p>前年度より引き継いだ重点連携 LOM</p>	<p>LOM 名:公益社団法人貝塚青年会議所</p> <p>LOM 名:一般社団法人羽曳野藤井寺青年会議所</p> <p>LOM 名:公益社団法人泉南青年会議所 (LOM 番号順)</p>